

2014秋号 Vol.7

目次

- ・やさしい健康講話
- ・部署紹介
- ・トピックス
- ・事業報告
- ・インフォメーション

猿人が疲れを癒したすずかけの木陰の優しさを信条として利用者の生活の質を高めるため保健医療福祉をつなぐチーム医療サービスを提供する事に最善を尽くします

ちから

すずかけセントラル病院 広報誌



～やさしい健康講話～シリーズ2

ピロリ菌と胃の病気

～ピロリ菌を退治(除菌)することで、胃がんを予防できるって本当？

まつはし とおる
消化器内科 医師 松橋 亨



皆さん、ピロリ菌ってご存知ですか？最近、テレビや新聞などで報道されることが多くなっているのでご存じな方も多いと思います。ピロリ菌は胃の粘膜にすみつく細菌で、日本人の約半分の方(6,000万人)がこのピロリ菌に感染しているとの調査結果もあり、なかでも50歳以上では感染率が70%以上とも言われています。ピロリ菌は胃の中で様々な毒素を産生しており、それが原因でいろいろな病気をひきおこします。ピロリ菌が原因の病気は以下のとおりです。

【慢性胃炎】ピロリ菌が原因で胃の中で炎症が起こります。炎症が長期間続くとだんだんと胃の壁が薄くなります。これを「萎縮性胃炎」といいます。進行した萎縮性胃炎は胃がんになる危険性が4～10倍になると言われています。

【胃潰瘍、十二指腸潰瘍】潰瘍患者さんの90%以上がピロリ菌に感染しています。胃潰瘍・十二指腸潰瘍は一度良くなっても、ピロリ菌をそのままにしておくと、半数以上が再発します。ピロリ菌を除菌することで潰瘍をしっかりと治すことができます。

【胃がん】ピロリ菌は胃がんの原因になることがあります。1994年に世界保健機構(WHO)はピロリ菌を確実な発がん物質と認定しました。ピロリ菌感染患者さんは10年間で3%の確率で胃がんを発症すると言われています。ピロリ菌を除去することで胃がんの発生率を1/3に抑えることができます。

以前の胃の検査で慢性胃炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍といわれたことがある方、最近胃の調子が良くない方などは一度ピロリ菌の検査をお勧めいたします。ピロリ菌の検査を行うときには原則として上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)が必要となりますが、当院では経鼻内視鏡など、患者さんの苦痛がすくない内視鏡検査を行っており、日本消化器内視鏡学会専門医、日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医が診療にあたります。ピロリ菌が気になる方は是非お気軽にご相談ください。

～トピックス～1

がんのリハビリテーション研修

H26年4月5日～6日と7月20日～21日の2回、がんのリハビリテーション研修会に参加し、医師2名、看護師2名、理学療法士4名、作業療法士1名、言語聴覚士1名が認定を取得しました。これに伴い、5月1日よりがん患者リハビリテーションの施設基準を取得し、がん治療に伴う入院中の患者さんに治療や病状に配慮したリハビリテーションが提供出来るようになりました。(緩和ケア委員会とも連動し、活動を拡げています。)

認定書を手にハイポーズ！



～ 部署紹介 ～

回復期リハビリテーション病棟

回復期とは脳血管障害や手術など急性期の治療を受けて、発症から1～2ヶ月が経過し病状が安定し始めた状態を言います。回復期リハビリテーション病棟では機能の回復や日常生活に必要な動作の向上を図り、寝たきり防止と社会や在宅への復帰を目指し、生活の再構築を支援しています。

患者さん一人一人のリハビリテーション計画に基づき、医師、看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療相談員、薬剤師、管理栄養士など多職種がチームとなり、在宅や社会復帰への支援に努めています。



医師による病状説明の様子



食事を支援する看護師



笑顔でサポートしています！

～ トピックス ～ 2

健康相談座談会 ～田尻町シニアクラブ～ 平成26年7月18日

7月度シニア白寿会定例会において、「健康に関する疑問や悩み事の相談会」が、座談会形式で行われました。当院からは事務局長・薬剤師、臨床検査技師・管理栄養士が参加し、皆さんからの健康や病気に関する質問や疑問にお答えしました。保険制度のこと、お薬のこと、健康診断や生活習慣病のことなど、日頃疑問に思っていることや受診の際に聞きそびれていたことなどを気軽に話していただきました。



薬剤師への相談風景

座談会の様子

【新聞掲載】 平成26年7月18日掲載

中日ショッパーに消化器外科の今井医師が掲載されました。

専門医に聞いてみよう
お医者さんに相談!!
「腹腔鏡手術」で負担軽減
鼠径ヘルニアや消化器系が
ん…傷口小さく痛み少ない

当院では、手術時の患者さんの負担を減らす低侵襲治療として「腹腔鏡手術」を行っています。5mm、12mmの小さな創で、体に残る傷が小さく、痛みを軽減できることが特徴です。カメラで視野まで観察できるので、腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。ほかにも乳がんの乳房温存手術など、心臓患者さんに優しい手術を心がけています。手術に対する不安がある方もお気軽にご相談ください。

今井 敦さん
消化器外科
電話053(443)0111

ミニコンサート 平成26年8月13日

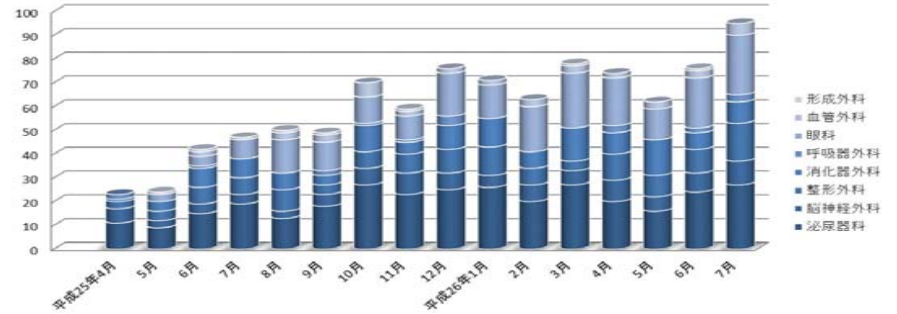
病棟ホールにおいて、「Twinkle」の小池さんと前田さんによるフルート演奏がありました。入院患者さん約30名が参加し、「川の流れるように」や「なごり雪」などを聞き、素敵な午後のひと時を過ごされました。



ゆかた姿での演奏に皆さんうっとり・・・

～ 事業報告 ～

手術実績 経過表



泌尿器科内視鏡下レーザー治療を始めとして、脳神経外科での顕微鏡下頸椎間孔拡大術、消化器外科腹腔鏡下手術等々、体に優しい手術実績が着実に増加しています。この7月には、95例の手術が施行されました。また、形成外科や血管外科(末梢血管)でも手術対応が可能となっております。お気軽にご相談ください。



～ インフォメーション ～

第2回すずかけふれあい祭

地域とつながる健康の“わ”

健康講話
講演会
無料検診チェック
手づか体験コーナー

平成26年10月25日(土)
10:00～15:00

- 無料健康チェック (10:00～14:00) 頸部超音波検査・血管年齢・骨密度・脂質血液検査
- 各種相談コーナー (医師・看護・相談室・栄養)
- 健康相談 (14:00～15:00) 1.「未定」
- 中学吹奏楽部演奏会 (13:00～)
- キッズ体験コーナー (ドクター、看護師さん体験＆写真撮影、スタンプラリーなど)

会場：地場産品出店
地元グルメ出店
フリーマーケット
チャリティバザー (収益金は全額寄付いたします)

生きがいと健康づくりのイメージキャラクター『すずかけ』が完成します！
そのほかにも、飛び入り体験キッズが企画します！

ご家族そろって、お気軽にお越し下さい。職員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

第9回すずかけグループ健康講座

入場無料
事前申込制
のりこえ55歳まで
定員230名

第1部 認知症とお薬 ～最新おすずき事情～
講師/深津 英之 すずかけセントラル病院 薬剤科 薬剤師

第2部 加齢に伴う腸の病気～認知症とパーキンソン病について～
講師/横山 徹夫 すずかけセントラル病院 副院長 脳神経外科医

お待たせしました！今年も「健康講座」の開催が決定しました。
日時：平成26年10月4日(土) 午後1時30分～3時
場所：マイカホール(浜松商工会議所内)

この講座は、当院の医師を中心に、健康や病気予防の話を、画像やデータを引用して、分かりやすく説明します。疑問に思っていることなどは、この機会に質問してみてください！



浜松市南区田尻町120-1
TEL : 053-443-0111 FAX : 053-443-0112
http://www.suzukake.or.jp